



いのちに合掌 日蓮宗

西龍華 妙性山  
妙顕寺

平成24年 夏号  
第3号

〒720-0832福山市水呑町1617

TEL: 084-956-0004

住職 赤星 龍憲

# 大覚大僧正・妙性上人・本性上人

## 第六五〇遠忌報恩大法要

住職 赤星 龍憲

明年平成二十五年は妙顕寺の第二祖・大覚大僧正妙実上人が入滅されて六百五十年になります。また、平成二十八年は妙顕寺を創建した一乗妙性上人の入滅六百五十年。さらに、平成三十三年は第四祖・一乗本性上人の入滅六百五十年を迎えます。この三師は、妙顕寺の礎を築かれた方々であります。

当山では、三師に対し報恩感謝の誠を捧げるべく、来年五月十一日三師第六五〇遠忌報恩大法要を、京都大本山妙顕寺貫首・和田日佑猥下を大導師にお迎えし厳修いたします。また報恩事業として、永代供養廟建

立と妙顕寺寺宝記録発行を計画しています。

そこで、今回は日蓮宗の歴史上にも大きな足跡を残された妙顕寺第二祖・大覚大僧正についてお話ししましょう。

### ◎日蓮宗の京都弘通

日蓮聖人は、法華経を帝都(京都)に弘めたいという願いを、臨終の枕辺で幼い弟子の経一丸(後の日像上人)に託されました。後に、日像上人は永仁二年(一二九四)四月、二十五歳で上洛。京都に初めてお題目を響かせたのでした。

日像上人は日毎、京の辻に立ち法華経の法門を民衆に説き続けました。その中に、妙実と名乗る僧が教えに深く感銘を受け、日像上人の弟子となりました。これが日像上人と妙実上人(後の大覚大僧正)との出会いです。

日像上人は元亨元年(一二三二)京都に妙顕寺を建立された後、これを妙実上人に譲られました。時は南北朝内乱の中、妙顕寺は足利幕府の天下泰平祈願の要請に応え法華経読誦と祈禱をし、強力な外護を得ることとなりました。また妙実上人は、後光厳天皇の命で雨乞いの祈禱をし、その効験が認められ、日蓮聖人に「大菩薩」号、日朗・日像上人に「菩薩」号、妙実上人に「大僧正」位が授与され、「大覚大僧正妙実」上人となつたのです。こうして、京都に於ける日蓮宗の地位は大覚大僧正によって確立されていきました。

### ◎西国への布教

大覚大僧正は、岡山・広島(備前、備中、備後)方面へ教線を広げ、これが「備前法華」が形成される

きつかけとなりました。備後では、水呑に来られた折に刀鍛冶・三原一乗兄弟の宅に宿泊。一乗兄弟は大覚大僧正の教化を受け、帰依することとなりました。その後、出家し、妙性・本性と名乗った兄弟は、何度も京に上り日像菩薩から直接教えを受け、許されて水呑の地に拠点を開くこととなりました。これが水呑・妙顕寺の創立です。



『土屋文明歌集』より

これは読売新聞の「編集手帳」にあつたものです。若い時はつい目先のことばかり追い求めたり、あせつてそのことに振り回されたりしがちです。しかし、若いからこそ多少の時間がかかっても、少々の回り道をして、自分の目標をしっかりと見据えて、そこに着実に到達するよう歩みを進めてほしいものです。今の自分を省みて、たとえ年を重ねたとしてもこれを大切な心構えとしたいと思います。

平成二十四年度

# 行事予定 七月～八月

◎七月十二日(木)午後二時より

## 宗祖報恩十二日講

午後二時より法華和讃練習  
ご希望の方はご自由にご参加ください。

◎八月一日(水)～七日(火)

## 御盆棚経

各地区のお経廻りの予定は、別紙をご覧ください。

◎八月十日(金)午後二時より

## 孟蘭盆施餓鬼会

塔婆回向をいたしますので、皆様どうぞお申し込みください。



# こんな行事がありました

去る五月二十六日、千部会大法要が執り行われ、百五十名余りの参拝者と共にお檀家各家先祖供養、並びに法華経読誦をいたしました。

特別講師としてご法話をいただいた村田龍学上人は、東日本震災で被災した友人の様子などを交えながら、人と人の結びつき法華経・お題目との縁の大切さを説かれ、聴聞の参拝者に感銘を与えられました。



# お寺の掲示板

## 妙性山墓地ゴミ処理についてのごお願い

以前より通知の通り、この度妙性山墓地の焼却炉四か所を撤去し、新たにゴミ箱を設置いたしました。各家の墓所から出たゴミの処理のついて、次のようにお願いたします。

一、墓所から出たゴミは、できるだけお持ち帰りください。

二、やむを得ず置いていかれる場合は、必ずビニール袋に入れ、口を結んでゴミ箱に捨ててください。

三、今までの焼却炉とは違いますので、枯れたササキや花をそのままゴミ箱に入れたり、あるいは新聞紙や紙袋に包んで捨てることはおやめください。

ゴミ箱にこのお願いを掲示してありますが、なかなか守られておりません。何卒、皆様のご協力をいただき、お互いが気持ちよくお参りできますようお願いたします。

## 位牌堂のお盆のお供え物について

八月のお盆が近づいてまいりました。お盆には、お檀家様が位牌堂の各家ご先祖様にお供え物をされることと思えます。中には、果物をお供えされる方もいらっしゃいますが、果物は暑さのためとても腐りやすく、腐った果物から汁が染み出して位牌堂の棚板を傷めてしまいます。そこで誠に恐縮ではございますが、本年より果物のお供えはお控えくださいますようお願い申し上げます。何卒、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。

## 墓地使用者名義確認のお願い

現在、妙性山墓地を使用されている名義人の確認作業を行っております。これまでに二四七軒中、一三〇軒のお檀家さんが確認をすまされました。まだお済でない方は、お寺にお立ち寄りの際に確認をお願いいたします。